

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-98	中学校	音楽	一般	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 027-72	中学生の音楽1		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して、生徒に「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

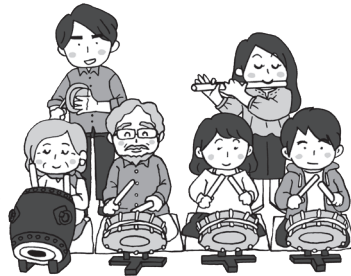
- 音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修しました。

基本方針 1

音楽によって生活を豊かにする心を育みます。

音楽を通して社会や身の周りの人々とつながる学びを促します。



基本方針 2

音楽科の確かな学力を育みます。

学習内容と学び方を明確に示し、「指導と評価の一体化」を図ることによって、確かな学びを支えます。



基本方針 3

主体的・対話的で深い学びを促します。

生徒が課題意識をもって友達と対話し、協働しながら学習することで学びを深めます。



3つの基本方針

音楽科の確かな学力を育みます。

学習内容と学び方を明確に示し、「指導と評価の一体化」を図ることによって、確かな学びを支えます。

1 学習目標の実現のため、精選された教材と活動文が学習を支え、的確な評価を引き出します。

学習のねらいや活動内容を分かりやすく示しました。

学習目標

音楽を形づくっている要素

教材

考えたいポイント

音楽的な見方・考え方を働かせて学習するために、この教材で特に考えたいポイントを例示しています。

活動文

p.28

2 「学びのコンパス」が思考力、判断力、表現力等を育みます。

学習の手順を丁寧に示し、その中で「何を考えるのか」「何を工夫するのか」が明確に分かるようにしました。

p.26・27

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の後に、1年間の学びを俯瞰することができるページを掲載しました。

学習指導要領の内容と各教材との関連を視覚的に確認することができます。

p.8・9

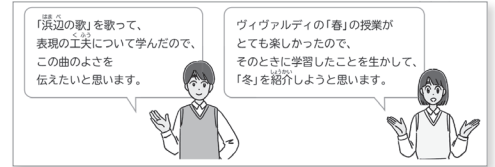
主体的・対話的で深い学びを促します。

生徒が課題意識をもって友達と対話し、協働しながら学習することで学びを深めます。

1 キャラクターが主体的・対話的な学びをサポートします。



p.38



p.91

2 主体的・対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は元来「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を生かし、「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるよう工夫しました。

考える観点を例示することで、主体的・対話的な学びを導き出します。

学びのコンパス 「平調 越天楽」の響きを味わおう

1 「平調 越天楽」を聴き、下の「注目するポイント」を参考に、聴き取ったことや感じ取ったことを書きましょう。

注目するポイント: 音色、リズム、旋律、テクニク

2 曲の冒頭部分を、総譜や楽譜 (p.52) を見ながら聴きましょう。また、「雅楽」(p.52) や、「管絃」で使われる楽器とその役割 (p.52) について、確認しましょう。

3 ①で書いたこと、②で確認したことを問合わせながら、曲を聴いて確かめたり話し合ったりして、この曲の特徴について考えたことを書きましょう。

4 ①～③をもとに、「平調 越天楽」のよさや美しさについて書き、意見交換をしましょう。

フレースとフレースの繋や、笙と篳篥が加わるところで、拍の感じ(曲)がどのように変わっているか確かめてみよう。

打物のリズム、箏笛と御楽の旋律、旋律の楽器とその他の楽器との音の重なりなどに注目して考えてみよう。

p.54

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識が高められる内容を、すぐに開くことのできる最終見開きに掲載しました。

国歌「君が代」がどのような場面で歌われているかを例示しています。

国歌「君が代」

君が代は千代に八千代にさざれ石のいわおとなりてこけのむすまで

国歌・国旗と国際的儀礼

国歌は国旗と並び、その国を象徴するものとされています。英語では「National Anthem」(旗揚する)と「国歌」といいます。

国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の旗、オリンピックやワールドカップやスポーツの開幕など、国際的な場面や場所でもよく歌われます。そこでは自国の国歌だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することが国際的な儀礼となっています。

2021年 東京オリンピックの開幕式で、国際儀礼に合わせて旗揚げを挙げる場面が映し出されています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	俳優・歌手の上白石萌音さんのインタビューを通して、友達とともに歌う時間の大切さを実感することができるようにしました。(第三号)	p.2・3
	宇宙飛行士の野口聡一さんによる、音楽の果たす役割を実感できるような内容のメッセージを紹介しました。(第三号)	p.4・5
歌唱教材	未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるようにしました。(第二号)	p.10～13 p.30・31
	歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高めることのできる教材と学習活動を設定しました。(第四号)	p.22～29
	パートの役割を知り、各パートの役割をそれぞれが担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第三号)	p.34・35
	雅楽の唱歌や我が国の民謡を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成できるようにしました。(第五号)	p.55 p.60・61
創作教材 (My Melody/Let's Create!)	音のつながり方に着目して旋律をつくる活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.20・21
	さまざまな楽器、身の回りのものや声などを用いて音楽を構成する活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.38・39
	グループ活動の中で協働しながら学習を進めることのできる教材を含めました。(第三号)	p.38・39
鑑賞教材	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国や郷土の伝統芸能とその流れを捉えることのできるページを新たに掲載しました。(第一号、第五号)	p.50・51
	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽を、明確な学習の観点に沿って学習できるようにしました。(第五号)	p.52～59
	他国を尊重する態度を育成するために、アジアの諸外国の伝統的な音楽を取り上げました。(第五号)	p.64・65
その他の教材	簡単な音符や休符を使ってリズムの読み書きの能力を確実に習得できるような教材を含めました。(第一号)	p.16・17
	指揮の活動においては、指揮をする際の責務を意識しながら、全員の気持ちを揃えられるように務める態度を育成できるようにしました。(第三号)	p.40・41
特集	音楽に関する知的財産権(著作権)についての解説を掲載し、著作権者の権利を尊重する態度を育成するとともに、著作物が再生産される社会的な仕組みについて理解できるようにしました。(第二号、第三号)	p.66・67
	音や音楽が生活の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第三号)	p.68・69
歌い継ごう日本の歌	亡くなった兄への思いをつづった内容の歌を掲載し、歌を通して生命の尊さを実感できるようにしました。(第四号)	p.70
心通う合唱	他者を尊重することや友情の大切さを実感することができるなど、道徳的観点と関連付けた教材を取り上げました。(第一号、第三号)	p.72～90
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌も尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.98・99

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-98	中学校	音楽	一般	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 027-72	中学生の音楽1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら、スムーズに学習を進めることができます。

学習の手順に番号を付け、各段階で考えることや工夫することを吹き出しでサポートするなどして、学習の流れを分かりやすく示しました。

学習の手順

考える観点や工夫することを例示する吹き出し

p.32・33

2 主体的・対話的で深い学びを導き出します。

意見交換する様子を吹き出しで示すことにより、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることができます。

私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対照的になるよう変化させました。

雨が上がった後の林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じ音楽だったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。

p.39

特に③では、小鳥の鳴いている様子をまねているようなヴァイオリンの旋律が印象的でした。

激しい部分と爽やかな部分との対比が、かっこいいと思いました。

p.45

3 我が国の伝統文化のよさに触れることができます。

我が国の伝統文化や身近にある郷土の芸能に親しみ、愛着をもつことができるようにしています。

雅楽「平調 越天楽」

雅楽は、約1200年の歴史をもつ日本の伝統音楽です。その歴史や演奏方法について詳しく説明されています。

楽器の紹介として、吹物（笙、篳篥、尺八）と打物（太鼓、箏、琵琶）が紹介されています。

p.52

日本の民謡

日本の各地には、たくまの民謡が伝えられてきました。その歴史や地域ごとの特徴について詳しく説明されています。

民謡の種類として、東日本（津軽、秋田、山形、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、高松市、岡山県、広島県、山口県）と西日本（福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）の民謡が紹介されています。

p.58

郷土に伝わる民謡を調べよう

民謡の調べ方について詳しく説明されています。また、全国の民謡の分布地図も掲載されています。

p.62

4 音楽に対する視野を広げ、価値観を高めることができます。

さまざまな音楽表現の共通性や固有性について考え、人々の生活と音楽との関わりに関心をもつことができます。

我が国の伝統音楽と聴き比べることで、学びが深まります。

聴き比べよう

p.52

ひょうけい えてんらく

「平調 越天楽」

アジアの諸民族の音楽

アジア各地には、それぞれの民族が暮らす中でできた多様な音楽が伝えられています。その歴史や特徴について詳しく説明されています。

紹介されている民族音楽として、インド（インド音楽）、モンゴル（モンゴル音楽）、カザク（カザク音楽）、オールドインド（オールドインド音楽）が紹介されています。

p.64・65

アジアの諸民族の音楽を探ろう

アジアの諸民族の音楽を探るためのガイドブックです。音楽の歴史や特徴について詳しく説明されています。

ガイドブックの内容として、音楽の歴史や特徴について詳しく説明されています。

5 協働的な学びの大切さを実感することができます。

俳優・歌手の上白石萌音さんのミュージカルの舞台に立ったときの心境や、中学校時代の合唱に対する思いを知ること、協働的な学びの大切さを実感することができます。

音楽の一員になれる時間

俳優・歌手の上白石萌音さんのインタビューです。音楽の歴史や特徴について詳しく説明されています。

インタビューの内容として、音楽の歴史や特徴について詳しく説明されています。

p.2・3

6 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を反映した紙面にしました。

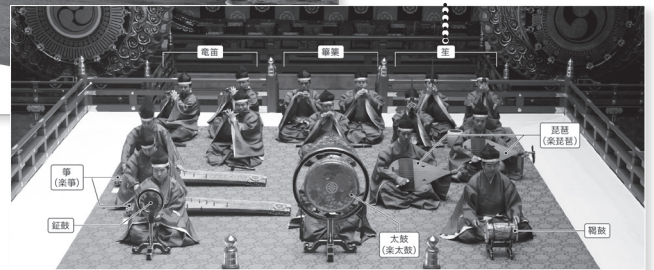
写真やイラスト上の文字については、読みやすさを重視しました。



背景を白地にして
視認性を高めました。

p.22・23

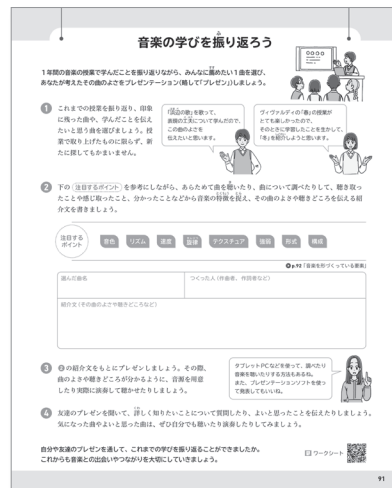
文字の読みやすさを重視し、
背景が無地の部分に歌詞を
配置しました。



p.53

7 見やすく、スッキリとした紙面により、スムーズな学習を実現します。

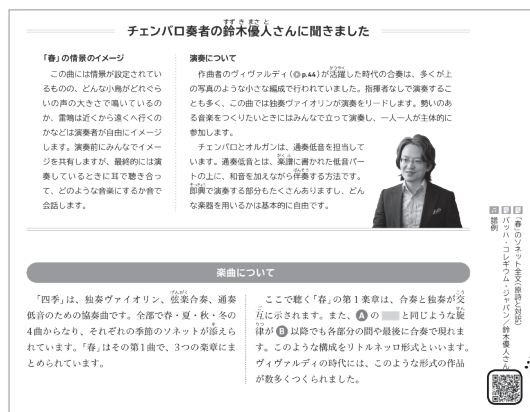
インクルーシブ教育の実現を目指し、特別支援教育や多様な色覚特性などの観点から、基本的に白を基調とした紙面にするとともに、情報の配置の仕方も工夫しました。



p.91

8 ICT 機器を活用した学習への対応を重視しています。

二次元コードを読み取ることによって、学習に役立つコンテンツへアクセスして閲覧、視聴することができるようにしました。



p.43

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽を愛好し、音楽によって生活を豊かにする心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。③主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てる。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容項目は漏れなく掲載しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●学年を通して学習指導要領の内容に示された学習を段階的に進められるよう、また上下の学年の学習とスムーズにつながるよう教材を選択、配列しました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう学習目標及び教材を配列し、学習内容の分量も適切となるように配慮しました。
	学習意欲・主体性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、「器楽」を除く「歌唱」「創作」「鑑賞」について、1年間の学びを俯瞰することができるページを掲載しました。(p.8・9)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の声域や変声期など心身の発達段階を考慮して、音域や難易度を吟味して選択、配列しました。
	創作教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を丁寧に示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考や判断を例示することによって、生徒の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の発達段階に合わせて、学習目標に沿ったものを選択し、学習を進めるうえで有益な写真や譜例、資料などを厳選して示しました。
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●【共通事項】に示された「音楽を形づくっている要素」のうち、その教材を学習する際の目安となるものを、学習目標の下に示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学習の手順や思考・判断の観点を具体的に示しました。(p.19、26・27、32・33、45、49、54、65、91)
	伝統文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国や郷土の伝統音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。(p.50～63)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●「アジアの諸民族の音楽」でアジア各地の多様な音楽のよさや美しさに触れられるようにしました。(p.64・65) ●国歌「君が代」のページでは、他国の国歌や国旗も尊重する気持ちを育てられるようにしました。(p.98・99)
社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●生活や社会の中の音や音楽について知り、それらと自分たちとのつながりを実感できる特集ページを設けました。(p.68・69) 	
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習に役立つコンテンツへアクセスして閲覧、視聴できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性も考慮した配色を採用しました。
文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインフォントを大部分に使用することで、可読性、可視性が高まるよう配慮しました。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明であり、製本は安全で堅牢な「アジロ製本様式」を採用しました。 	

2. 対照表

図書構成		学習指導要領の内容																							
ページ	教材名 (●は鑑賞教材)	歌唱				創作			鑑賞						音楽を形づくっている要素										
		ア	イ	ウ		ア	イ	ウ	ア			イ			音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成			
		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)												
10	We'll Find The Way	○	○	○	○	○										○					○				
12	その先へ	○	○	○	○	○															○		○		
14	My Voice!	○		○	○																				
17	リズムチャレンジ						○		○	○							○								○
18	主人は冷たい土の中に	○	○	○	○	○															○		○	○	○
20	My Melody						○	○		○							○				○				
22	浜辺の歌	○	○	○	○	○											○				○		○	○	
28	赤とんぼ	○	○	○	○	○															○		○		
30	夢の世界を	○	○	○	○	○											○	○				○			○
34	君をのせて	○	○	○	○	○																○	○	○	
36	●イメージと音楽											○	○	○	○	○					○	○	○		
38	Let's Create!						○		○	○							○					○	○		○
40	指揮をしてみよう!											○		○	○						○	○		○	○
42	●春											○	○	○	○	○					○	○	○	○	
46	●魔王											○	○	○	○	○					○	○	○		
50	日本音楽入門												○			○									
52	●雅楽「平調 越天楽」											○	○	○	○	○	○				○	○			
55	「越天楽」の唱歌を歌おう	○		○	○												○	○	○	○					
56	●箏曲「六段の調」											○	○	○	○	○	○				○	○			○
58	●日本の民謡											○	○	○	○	○	○				○				○
60	ソーラン節	○	○	○	○	○											○				○	○			
62	郷土に伝わる民謡を調べよう												○	○		○	○				○	○	○		
63	日本音楽に関する言葉													○	○						○	○			
64	●アジアの諸民族の音楽											○	○	○	○	○	○				○	○	○		
70	涙そうそう	○	○	○	○	○											○				○	○			
71	上を向いて歩こう	○	○	○	○	○											○				○				
72	友達の友達	○	○	○	○	○																○	○	○	○
74	Yes!!	○	○	○	○	○																○	○		○
76	1/6の夢旅人 2002	○	○	○	○	○																○			
78	unlimited	○	○	○	○	○																○	○	○	
80	天球図	○	○	○	○	○																○	○	○	
82	大切なもの	○	○	○	○	○											○				○	○	○		
84	星座	○	○	○	○	○																○	○	○	
86	あすという日が	○	○	○	○	○											○				○	○		○	○
88	COSMOS	○	○	○	○	○																○	○		○
91	音楽の学びを振り返ろう																○	○	○	○		○	○	○	○
98	国歌「君が代」	○	○	○	○	○																○	○		